

関西業務ニュース

2013年2月20日 No.210

JR東海労働組合新幹線関西地方本部

発行 小林 國博 編集 業務部

2月19日、業務委員会開催。

会社より「平成25年度春ダイヤ改正による要員等について（乗務員関係）」

「検修業務量」

「H25.3ダイヤ改正後の通勤回送の設定」

「平成25年3月ダイヤ改正 車両計画現改比較（平成25年3月16日現在）」

について提示を受ける。

《会社説明》

「平成25年度春ダイヤ改正による要員等について（乗務員関係）」 ・ ・ 別紙

「検修業務量」 ・ ・ 別紙

「H25.3ダイヤ改正後の通勤回送の設定」 ・ ・ 別紙

「平成25年3月ダイヤ改正 車両計画現改比較（平成25年3月16日現在）」 ・ ・ 別紙

口頭による補足4点（概要）

- I. 大阪交番検査車両所の稼働日について。平成25年度は246日。休日については一日の分散付与が発生する予定。見直しはあり得る。
- II. 新大阪駅引き上げ3番線、4番線の使用開始について。春のダイヤ改に伴い営業列車の入線を開始する。
- III. 大阪仕業検査車両所、庫7番線の使用開始について。平成25年度のダイヤ改正に伴い、本格的な私用を開始する。
- IV. 大阪仕業検査車両所・新大阪支所における被服について。振動測定に従事している社員の被服を、これまでの接客服から技術服に変更する。

《やり取りの要旨》

乗務員関係について

組合：乗務員の休日出勤は、来年度は解消されるのか。

会社：今年度と同様の2泊程度を予定している。

組合：解消の目処は。

会社：一概に言いづらい。答えられない。

組合：休日出勤解消のスタンスに変わりはないのか。

会社：変わりはない。

組合：乗務員の要員に、総合職で乗務員をやっている社員は入っているのか。

会社：わからない。

組合：総合職の運転士は今後やらない、と言った噂があるが。

会社：今後もやる。

組合：休日出勤に伴い、年休の消化率は上がっているのか。

会社：休日出勤と年休はリンクすると思うが、消化率は昨年並みになると思われる。

組合：特に乗務員は年休の消化率が悪いと認識しているが、流している社員はいないのか。

会社：個別の話になるが、あると思われる。本人のスタンスもあると思うが、年休を使い切って病欠の社員もいる。

組合：要員が足りないのが根本の問題ではないのか。

会社：要員は中・長期的に見てやっている。

組合：休日出勤数は以前に比べれば減ったが、依然解消されていない。

会社：恒常的な削減に向けたスタンスに変わりはない。安定的な採用も続けてきている。

組合：運輸所5所の要員の枠は増えているのか。

会社：わからない。増えているという認識。

車両所関係について

組合：大交両の休日分散付与だが、今年度は4日の計画で実際は3日の分散だった。最後の1日は昨年の12月頃の会社説明により一斉付与されることとなったが、来年度の分散予定1日は、今年度と同じように、業務量によってはなくなることはないのか。

会社：現在の計画であり、どうなるかはわからない。

組合：鳥飼基地の52番線が使用開始となるが、組合に対して何の説明のないのはおかしい。

会社：休線していたものを再使用するだけである。庫の7番線のような新設とは違う。

組合：設備に変更はないのか。

会社：これまでは2編成留置のための施設があったが、今回はなくなる。

組合：設備の変更等については、実際に使用する社員に対して十分な説明を行うこと。

会社：庫7番線と併せて説明を行うことになる。

組合：大台両は、来年度は「白日」が発生するのか。

会社：発生する。発生する白日は今年度と同じように教育等に使う。

組合：浜松工場の全般検査で改造するZ編成は、何編成あるのか。

会社：36編成を予定している。

以上